

トピックス

便利な気象情報の紹介（気象庁 HP 編）

天気予報に触れない日はないと思いますが、さらに有用な気象情報も数多くあります。そこで、本 SENSOR では、気象庁が提供していて、われわれが簡単に利用できる気象情報へのアクセス方法と、その見方について紹介いたします。

1. 高解像度降水ナウキャスト (URL : <http://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>)

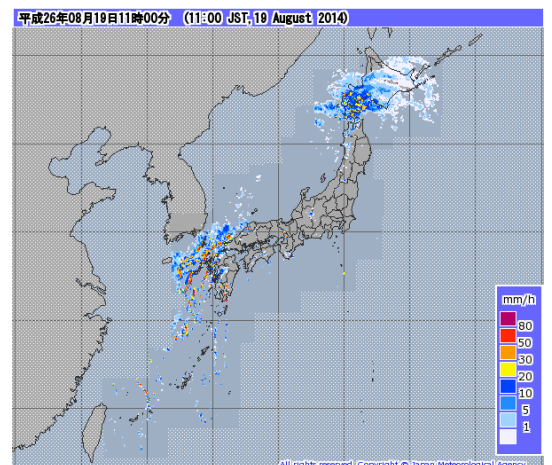
【こんな時に使えます！】

自分の居る場所または近くで集中豪雨が発生しているが、どの場所でどの程度雨が降っているのか知りたい場合や今後集中豪雨の対象地域がどのように移動するのか知りたい場合に役立ちます。また、数時間降り続く雨なのか、数分で止む雨なのかを感覚的に予想することもできます。

【解説】

図表 1 はナウキャストの実際の図です。この図表では領域が日本全土になっていますが、見たい地域だけをピックアップすることもできます。この例では、九州北部や東部、北海道のほぼ全域で雨が降っており、本州や四国ではほとんど雨が降っていません。

例えば、福岡にいる人が「どの位強い雨が降るのか」「どの程度降り続くのか」知りたい場合、九州地域の画像をピックアップして強度表を見れば推測できますし、降水帯が広いことから「数時間は降り続く」という予想もできます。一方、東京では降水帯がほとんどないため、降水があったとしても「数分で降り止む」という予想もできます。



図表 1 ナウキャスト (出典：気象庁)

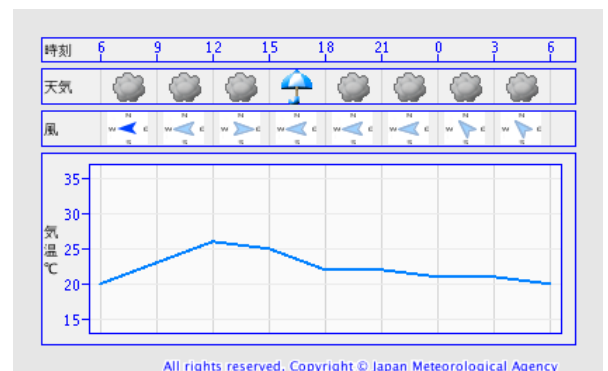
2. 時系列予報 (URL : <http://www.jma.go.jp/jp/jikei/>)

【こんな時に使えます！】

15 時頃から外出する予定で、それ以降の天気や気温が気になる。また、出張先での到着時の天気や気温が知りたい場合などに役立ちます。

【解説】

図表 2 は時系列予報図で、天気と風・気温が 3 時間毎にどのように変化するか表したものになります。地域毎に選択できますので、日本各地の予報を見ることができます。この例では、現在は曇りだが、夕方から雨の降る可能性が高いことがわかる。また、気温は 12 時をピークに下がる見込みであることもわかります。



図表 2 時系列予報 (出典：気象庁)

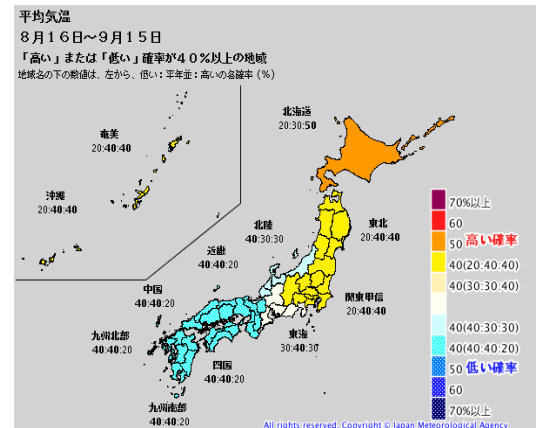
3. 季節予報 (URL : <http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>)

【こんな時に使えます！】

農作物の管理を行う上で、これから1カ月間の気温が平年より高い予想なのか、低い予想なのか知りたい場合などに役立ちます。また、旅行の計画をたてる上で、平年より気温が低く、降水量が少ない過ごしやすい地域を選ぶ時などに役立ちます。

【解説】

図表3は気温の季節予報の一例です。他にも降水量・日照時間・降雪量の予測を行っています。図表3は、今後1カ月間の気温が平年に比べて高いのか、低いのかを表したもので、この例では、北海道では50%の確率で平年より気温が高く、平年より低い確率が20%と気温が高くなる傾向があることがわかります。また、東日本では気温が高くなる確率が高く、西日本では気温が低くなる傾向になることもわかります。



図表3 季節予報(出典：気象庁)

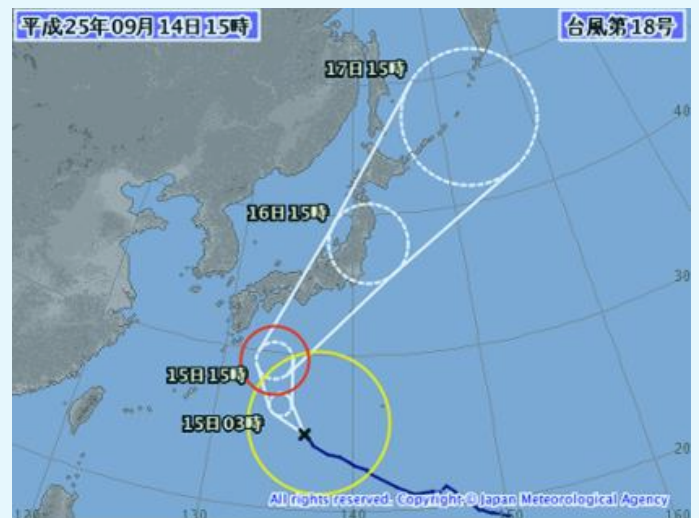
【気象コラム】台風情報の見方

8月～10月は台風の発生数や日本への接近数・上陸数が多く、台風情報を見かける機会が多くなります。そこで、本コラムでは、台風情報の見方について説明します。

多くのニュースは、図表4のような天気図を用いて解説しています。現在の台風の中心は×印のところにあり、黄色い円で囲まれた領域は**強風域**という名称で呼ばれ、「風速15m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある領域」、赤色の円で囲まれた領域は**暴風警戒域**という名称で「今後、台風が予想する進路を通過した場合に風速25m/s以上の風が吹く可能性がある領域」を意味します。

また点線円は**予報円**という名称で、今後台風の中心が70%の確率で通る領域になります。

台風にはその強さや大きさによって呼び方が決まっています。強さに関しては、最大風速が33m/s以上44m/s未満の場合「強い台風」、44m/s以上54m/s未満の場合「非常に強い台風」、54m/s以上の場合「猛烈な台風」という呼び方をしています。大きさに関しては、強風域の半径が500km以上800km未満の場合「大型の台風」、800km以上の場合「超大型の台風」という呼び方をしています。また、それ以外は「台風」という呼び方をしており、「普通の台風」という呼び方は使用しません。これは、「普通の台風」という呼び方で防災意識を低下させる可能性があるためです。また、気象庁は現在、5日先の台風の進路まで予測しそれをホームページに公開しています。(URL : <http://www.jma.go.jp/jp/typh/>)



図表4 台風の進路予想(出典：気象庁)

【参考文献・ホームページ】

・気象庁ホームページ：<http://www.jma.go.jp/>

以上